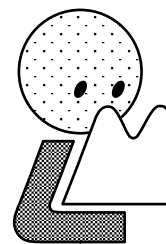


絵本の世界へ④

～ちしきのほん～



大阪市立図書館 2026

◎図書に関する記載事項は、次の順になっています。

書名／著編者・画家・訳者／出版社／本の大きさ／ページ数／ISBN

あいうえおうた 谷川俊太郎著 降矢なな絵 福音館書店 22cm 23p 978-4-8340-1589-8

「あいうえおきろ」と起きた猫が、じゃれあったり、くらやみに隠れたりしながら、いろいろな動物たちと出会ううちに、順番に五十音を読み込んだ詩が生まれていきます。リズムカルに大きな声で読んであげてください。

あがりめさがりめ（おかあさんと子どものあそびうた） ましま せつこ絵 こぐま社
25cm 32p 978-4-7721-0119-6

素朴で心が温まるわらべ歌を、新旧とりまぜ15曲紹介しています。歌の身振り手振りを説明する明るく楽しい挿絵に助けられ、遊ぶことができます。子どもたち同士でも、大人とも、ふれあって楽しめます。



おばあちゃんのおせち 野村たかあき著・絵 佼成出版社

25cm 32p 978-4-333-02356-1

もうすぐお正月です。今年初めてきりちゃん、おばあちゃんのおせち作りの手伝いをします。女の子が特別な料理のいわれや調理を学びながら、家族と協力してお正月を迎える準備をする様子がほのぼのと描かれています。

くうきはどこに？ フランクリン M.ブランリー著 ジョン オブライエン絵 おおにし たけお訳 りゅうさわ あや訳
福音館書店 21×26cm 32p 978-4-8340-2361-9

生き物が生きていくのに欠かせない空気は、そこにあるはずなのに目には見えません。どうやったら見つけることができるでしょうか。台所で手に入る道具で簡単な実験をして空気を探してみましょう。

こいぬがうまれるよ ジョアンナ・コール著 ジェローム・ウェクスラー写真 つばい いくみ訳 福音館書店

26cm 40p 978-4-8340-0912-5

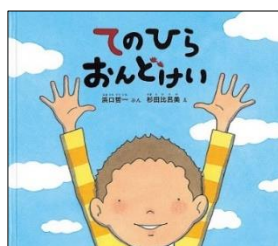
子犬が生まれるところを見たことがありますか？ 母犬の妊娠から出産、そして子犬の成長を丁寧にとらえ、生命の不思議さ、大切さを伝えてくれます。ページをめくるたびに、目に見える形で子犬の成長が感じられます。

これはのみのぴこ 谷川俊太郎著 和田 誠絵 サンリード 29cm 32p 978-4-914985-01-1

ページをめくるたびに新しい文が加わっていく形式の詩の絵本です。シンプルな絵も楽しく、読み進むうちに聞き手もしくみがわかってきて、一緒に唱えるようになります。

たんぽぽ 平山和子著・絵 北村四郎監修 福音館書店 26cm 23p 978-4-8340-0470-0

なじみの深い野の花、タンポポを観察してみましょう。太い根っこを深く深く伸ばし、花がしぼんだあとにまた茎を立ちあげ、種を飛ばします。たくましく生きる姿を、美しい絵で図解しています。



てのひらおんどけい 浜口哲一著 杉田比呂美絵 福音館書店

21×24cm 24p 978-4-8340-2400-5

パパと散歩に出かけた男の子が、つないだ手のぬくもりに気付いたのをきっかけに、家のさくや公園の砂山など、いろいろなものに触って「あったかい」のか「つめたい」のか確かめます。やわらかな色使いで、身の回りの不思議を発見する子どもを描いた絵本です。



はこぶ 鎌田 歩著・絵 教育画劇 27cm 32p 978-4-7746-1363-5

人はものを運ぶとき、手で持つよりは袋や箱に入れたり、牛の力で引くよりもトラックやロケットを使ったりと、さまざまな工夫をしてきました。いろいろな運ぶ姿が、カラフルな色使いで丁寧に描かれ、親しみやすい言葉も添えられた、見て楽しい絵本です。

葉っぱのあかちゃん 平野隆久著・写真 岩崎書店

27cm 31p 978-4-265-04356-9

春が来ると、みずみずしい色の小さな葉っぱのあかちゃんが生れます。公園や山で見られる木々の新芽を、美しい写真で紹介しています。巻末にそれぞれの木の名前や特徴について簡潔な説明がついています。

はなのあなのはなし やぎゅう げんいちろう著・絵 福音館書店 26cm 27p 978-4-8340-0891-3

鼻の穴はふたつあります。ほとんどの動物が同じです。鼻の穴の役割って何でしょうか。穴ですがポケットではないので物を入れてはいけません、というような楽しい注意事項や、鼻やのどのしくみも書いてあります。

花のたね・木の実のちえ 5 オナモミのとげ 多田多恵子監修 ネイチャー・プロ編集室編著 偕成社

28cm 31p 978-4-03-414350-6

秋の川原で遊ぶと、服にくっついてくるオナモミの実。動物や人にくっついた実は遠く離れた場所で地面に落ち、春になると芽を出します。実が運ばれ、成長する様子を的確な写真で分かりやすく教えてくれます。

バナナのはなし 伊沢尚子著 及川賢治絵 福音館書店 26cm 27p 978-4-8340-2765-5

バナナを冷蔵庫に入れると黒くなるのはなぜ？ そんな素朴な疑問から、バナナの生態を楽しく紹介する絵本です。芽がでて花が咲き、実が育って、日本に届くまでがシンプルながら特徴をとらえた絵で描かれ、身近な果物のふだん見られない姿に驚かされます。

びっくりまつぼっくり 多田多恵子著 堀川理万子絵 福音館書店 24cm 23p 978-4-8340-2581-1

まつぼっくりを見つけた男の子は、羽根のような形の種を飛ばして遊び、湿気でちぢんだり開いたりする様子を「しょんぼり」「はりきり」と呼んで喜びます。幼い子が植物のもつ不思議を発見してゆく姿を、子どもの言葉で語っています。

みずとはなんじゃ？ かこ さとし著 鈴木まもる絵 小峰書店 26cm 31p 978-4-338-08161-0

水は忍者や役者のように水蒸気や氷へ姿を変えます。身体の中では料理人のように栄養を運び、大気中ではクーラーや布団のように気温を保つ働きをします。水の性質を親しみのある絵と身近な例えで楽しく紹介し、水の大切さや環境を守ることの重要性を伝えます。

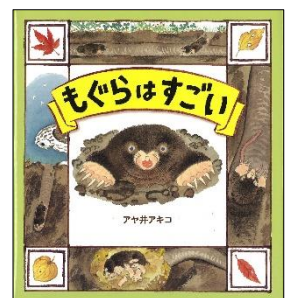
みんなうんち 五味太郎著・絵 福音館書店 25cm 27p 978-4-8340-0848-7

ゾウもばくもわたしも、動物はみんなうんちをします。ページをめくると、いろいろなうんちがでてきます。「うんちをするのはみんな同じ」だけれど「ちょっとちがう」ことがユーモラスな絵でわかるようになっています。

もぐらはすごい アヤ井 アキコ著 川田伸一郎監修 アリス館

26cm 36p 978-4-7520-0837-8

土の中を自由に動くことができるモグラの体の特徴や暮らしを、やさしい文章で紹介します。腕力や食べる量の人間との比較や、地図のようなトンネル図が、子どもの興味をひきつけます。やわらかい色合いで描かれたモグラの表情が、親しみを感じさせます。



やさいのおなか きうち かつ著・絵 福音館書店 19×19cm 47p 978-4-8340-1438-9

「これ なあに」と示される黒いシルエットは、野菜の断面（おなか）です。めくると、カラーの断面図と、まるごとの絵があらわれます。意外な姿に描かれた野菜たちが次々と登場し、クイズとしても楽しめます。